

チェコ上院選挙（第1回投票）・県議会選挙 結果速報

平成24年10月15日

在チェコ日本国大使館

10月12日及び13日、チェコ上院選挙（第1回投票）及び県議会選挙が実施されたところ、結果概要以下のとおり。

選挙結果の概要

1 上院選挙

上院選挙では、改選対象となった27選挙区（全体の3分の1議席）において、第1回投票で当選者が確定した選挙区はなし。当選者確定は、19日及び20日に実施される上位2候補者による決戦投票に持ち越されることとなった。全体的に左派政党が大きく票を伸ばした。

2 県議会選挙

改選対象となった13の県議会（全体14県議会のうちプラハを除く）のうち9県で最大野党・社会民主党（CSSD）が、2県で共産党が第1党となり、左派・野党の顕著な勝利となった。

選挙結果

1 上院選挙

（1）改選対象となった27選挙区（全体の3分の1議席）全てにおいて、いずれの候補者も第1回投票での当選基準（有効投票数の過半数）を満たさず、当選者確定は19日及び20日に行われる上位2候補者による決選投票に持ち越されることとなった。27選挙区の投票率の平均は34.9%（前回2010年は44.6%）。

（2）決選投票に進出した政党別の候補者数は、下記のとおり。

【決選投票進出政党別候補者数】

社会民主党（CSSD）：23／共産党：12／市民民主党（ODS）：10／TOP09：1／キリスト教民主同盟・人民党（KDU-CSL）：1／その他の政党・無所属：7

2 県議会選挙

改選対象となった13の県議会（全体14の県議会のうちプラハを除く）のうち9県でCSSDが、2県で共産党が、1県でODSが第1党となった。投票率は36.9%（前回2008年は40.3%）。

【主要政党別得票率（全県平均値）】

CSSD：23.6%／共産党：20.4%／ODS：12.3%／KDU-CSL：5.8%

（参考1）チェコ上院選挙

チェコ上院（定員81名、任期6年）は、2年毎に定員の3分の1である27名を改選（小選挙区制）。第1回投票においては、各選挙区で得票数50%以上の最多得票者が当選。第1回投票で50%以上の票を得る候補者がいない場合は、上位2候補者で決選投票を行い、得票数の多い方が当選。

（参考2）チェコ国会制度

上院及び下院の二院制。下院のみが憲法、予算、選挙法等に関し審議・票決し、内閣信任・不信任の表明する権限を有する。また、法案は下院先議（上院で否決されても再可決可能）となっているなど、下院が優越。

【下院構成（定員200議席、与党は斜線表記）】

社会民主党（CSSD：中道左派）：54、市民民主党（ODS：中道右派）：51、TOP09（中道右派）：41、チェコ・モラビア共産党（左派）：26、公共の物（VV：中道右派）：12、LIDEM：7、無所属・その他：9

【上院構成（定員81名）】

CSSD：38（5）、ODS：24（13）、TOP09：5（3）、共産党：2（1）、キリスト教民主連合一人民党（KDU-CSL）：7（3）、無所属・その他：5（2）

（参考3）県議会選挙

プラハを除く13県の議会選挙（任期は4年）。選挙後に各議会にて県知事が選出される。